

指標57 身体抑制

代表者：鶴田 真 クオリティマネージャー；林 幸恵
QM委員会委員10名、

身体抑制

指標の意義

身体拘束は本来あってはならない行為ですが、手術のあとなど患者さんの療養を適切に行うため、やむを得ない場合に身体拘束を行うことがあります。患者さんの人権の視点からも、より限定された患者さんへ、より早期に解除することが必要です。この指標は身体拘束の実態を把握し、早期に拘束解除を行う努力が継続されているかどうかを検証するものです。当院では、【身体拘束】と表現しています。

分子 身体拘束を実施した延べ日数(A,B,C共通)
分母 A) 当月の身体拘束を実施した患者数
B) 当月の入院患者延べ数(退院患者延べ数含む)
C) 複数のスタッフで検討した記録のある回数

Plan(計画)

- 【データ分析】
毎月診療情報室で身体拘束状況のデータから指標の計算式で算出し傾向を把握
- 2024年度実施した看護師対象身体拘束に関する認識調査のアンケート集計、分析

Do(実行)

- 【身体拘束最小化チーム】
身体拘束最小化チームの設置。
身体拘束の基準見直し。
チームが介入している患者で、身体拘束をしている患者を対象の身体拘束の軽減
- 【学習会】
認識調査の結果から、身体拘束の基準や三原則についての学習会。軽減や解除に向けて必要な知識の学習会



Action(改善)

- 【学習会】
身体拘束最小化チームの介入活動をもとに全職員向けの学習会内容を修正
- 【データの共有】
全職員にデータの分析状況を周知し現状を共有

Check(評価)

- 【データ分析】
身体拘束状況のデータ分析

活動内容

調査

- 毎月のデータ調査から分析と対策を実施する

援助

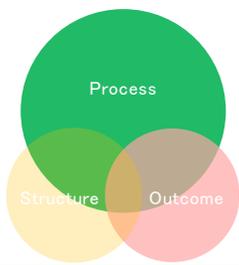
- 病棟看護師に対して認定看護師が支援

教育

- 職員に抑制の三原則を始めとした教育・啓蒙を行う。

還元

- 各職種、部門にデータを還元する
- 患者さん、友の会の会員さん、地域のみなさんにデータを還元する
- 病院ホームページへの掲載、職員向けニュースの作成など

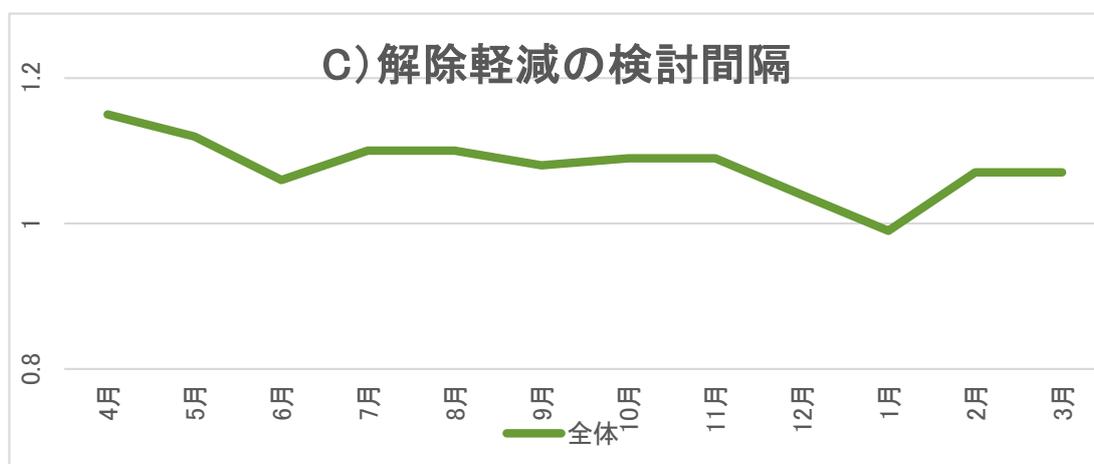
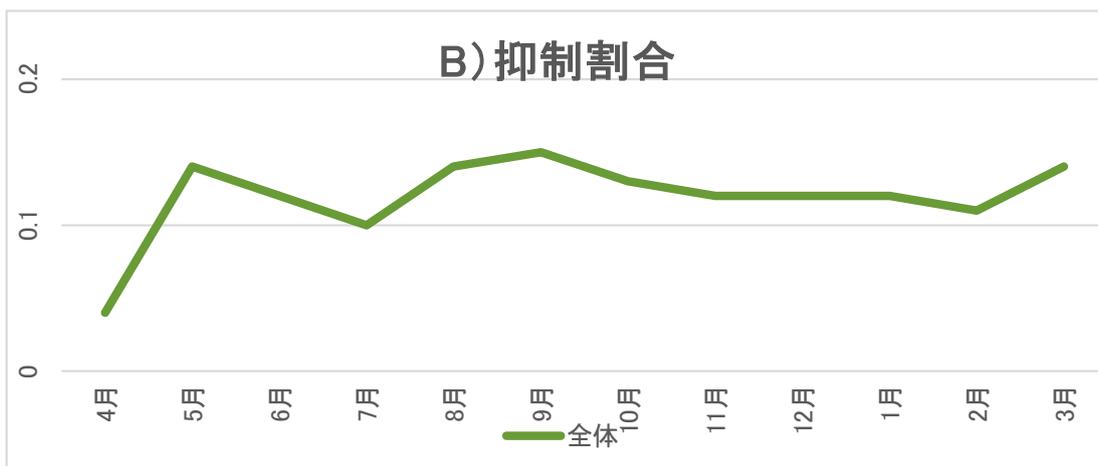
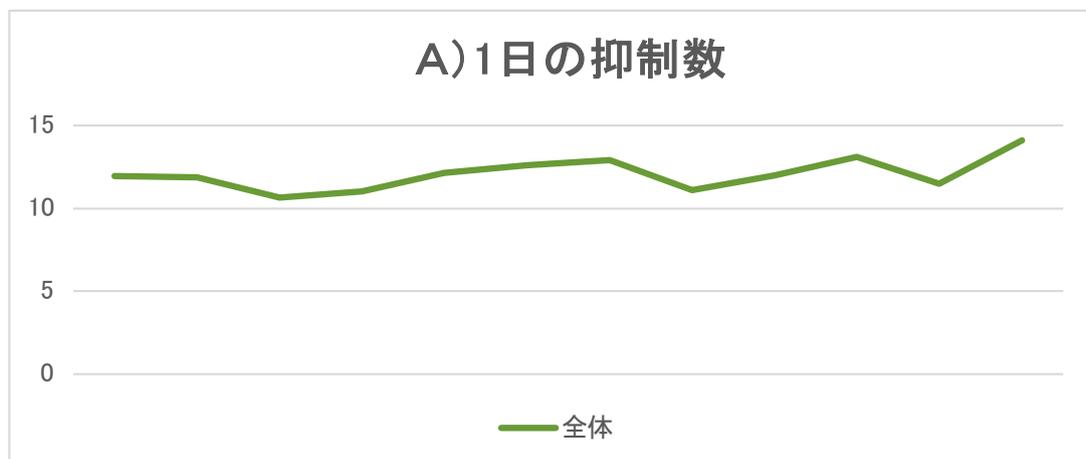


指標57 身体抑制

代表者：鶴田 真 クオリティマネージャー：林 幸恵
QM委員会委員10名

身体抑制

2025
年度身体抑制実施状況調査



●QM委員会より

身体抑制は本来あってはならないことなので、今後もより早期に解除できるよう取り組みを継続していきます。また職員教育を継続し、常に人権意識を高めた状態を維持したいと思います。